

\*2019年3月改訂  
(第2版 効能・効果、用法・用量の削除)  
2017年2月作成(第1版)

日本標準商品分類番号

873231

\*糖 類 剤

# ブドウ糖「コザカイ・M」

日本薬局方 ブドウ糖

Glucose

貯 法：気密容器  
使用期限：ラベル等に記載

承認番号	16000AMZ04523000
薬価収載	1950年10月
販売開始	1949年11月
再評価結果	1977年10月

## \*【禁忌】(次の患者には投与しないこと)

ブドウ糖吸収不良の患者

[遺伝性のグルコース-ガラクトース吸収不良症では小腸における両者共通の運搬体の欠損が存在すると考えられており、ブドウ糖を摂取しても吸収されずにそのまま排泄される。又、小児に腸炎や消化管の外科的切除を施行したときなどにも、まれにグルコース吸収不良を認めるため]

## 【組成・性状】

本品1g中、日本薬局方 ブドウ糖1g含有する。  
白色の結晶又は結晶性の粉末で、においはなく、味は甘い。本品は水に溶けやすく、エタノール(95)に溶けにくく、ジエチルエーテルにほとんど溶けない。

## \*【効能・効果】

経口的栄養補給、ブドウ糖負荷試験

## \*【用法・用量】

経口的栄養補給には、必要量を粉末あるいは水溶液として経口投与する。  
ブドウ糖負荷試験には、通常、成人1回ブドウ糖として、50～100gを経口投与する。  
なお、年齢、体重により適宜増減する。

## \*【使用上の注意】

- (1) 慎重投与(次の患者には慎重に投与すること)
  - 1) カリウム欠乏傾向のある患者 [ブドウ糖の投与によりカリウムが細胞内に移行し、一時的に血清カリウム値が低下し、症状が悪化するおそれがあるため]
  - 2) 糖尿病の患者 [高血糖を生じ症状が悪化するおそれがあるため]
- (2) 副作用  
(本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。)  
消化器(頻度不明)  
大量を経口投与するとき悪心・嘔吐、下痢、腹痛を起すことがあるので、慎重に投与すること。[ブドウ糖の吸収が間に合わずに、腸内浸透圧が上昇するため]
- (3) 高齢者への投与  
一般に高齢者では生理機能が低下しているので減量するなど注意する。

## \*【薬効薬理】

経口投与されたブドウ糖は胃腸管より速やかに吸収され、血液中に入り、体内でエネルギー源となり代謝される。また肝、心筋グリコーゲン量をたかめ、あるいは全身の細胞機能を亢進して生体の代謝能を増し、更に解毒効果を示す。

## 【包装】

500g

## 【文献請求先】

吉田製薬株式会社 学術部  
〒164-0011 東京都中野区中央5-1-10  
TEL 03-3381-2004  
FAX 03-3381-7728

発売元



吉田製薬株式会社  
東京都中野区中央5-1-10

製造販売元

小堺製薬株式会社  
東京都墨田区両国4-36-9